

「川内北中学校の川内大綱引（薩摩川内子供大綱引）伝承活動の取組」

1 学校名

薩摩川内市立川内北中学校

2 学年・人数

1年生 25人 2年生 29人

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所 なし

(2) 発表の日時・場所 平成28年9月17日（土） 市大小路（東田建材前）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事について

(1) 名称

せんだいおおつなひき（さつませんだいこどもおおつなひきつなねり）

川内大綱引（薩摩川内子供大綱引綱練）

(2) 由来

川内大綱引は、島津義弘公が関ヶ原の戦いの前に、薩摩藩の志気を高めるために始めたものといわれ、すでに410年余の歴史を持っている。昔から商売繁盛と五穀豊穡を祈念して上方、下方にわかれて綱を引き合う喧嘩綱と呼ばれる薩摩川内市の伝統行事で、鹿児島県指定無形民俗文化財になっている。川内大綱引400年祭より、薩摩川内市内小学校へ参加を呼び掛け始まったのが、薩摩川内子供大綱引である。子供大綱引は、綱の大ききこそ3分の1ではあるが、川内大綱引の綱練から進行まで本番同様に行い、子供たちへ薩摩川内市の歴史ある文化を継承し、大綱引の認識を高めることを目標にしている。

(3) 構成等

川内大綱引保存会、川内大綱引実行委員会、薩摩川内市教育委員会

薩摩川内市内小学生、薩摩川内市内中学生

5 保存会や地域との連携の具体

川内大綱引保存会及び実行委員会から薩摩川内子供大綱ボランティアとしての参加依頼を受けて、生徒募集を行い、部活動単位で参加をしている。教頭が窓口となり、実行委員会への参加者を報告するなど、連絡・調整を行う。当日は、保存会及び実行委員会の方々の指導のもと、会場設営や綱練等を積極的に行っている。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

できるだけ多くの生徒に薩摩川内市の歴史ある文化を継承し、大綱引の認識を高めて欲しいと考え、早めに呼び掛けを行ったり、部活動顧問を通じて積極的な働き掛けを行ったりしている。

7 取組の様子（練習状況，発表の場等）



保存会の方々の指導のもと綱を練る様子



できあがった子供大綱と一緒に記念写真

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【生徒の感想】

伝統ある川内大綱引の大綱が、このようにして練られていることを体感できて楽しかった。実際には、太さも長さもこの3倍もの大きさだということなので、すごいと思いました。また、子供大綱引は18回目ですが、川内大綱引は400年をこす歴史のある行事であり、自慢できる行事です。これからもずっと続いて欲しいと思います。

【教職員の感想】

川内大綱引の綱を練る作業を体験し、伝統文化を継承したような気分になりました。これから、ふるさと・コミュニケーション科や教科，道徳，学活等の授業で，今回の体験を生徒に語り，川内大綱引の魅力を伝えていきたい。今後も，薩摩川内市の行事等に参加し，薩摩川内市の魅力を生徒に伝え，ふるさとを愛する心豊かな生徒を育成していきたい。